

## 【企画の趣旨】

宗教教誨は、明治時代以来、罪を犯した人びとの改善更生の大きな手助けとなってきました。1908（明治41）年『監獄法』の下では、公務員であった東西本願寺の教誨師が中心的な役割を果たしていました。

第二次大戦後、日本国憲法の下、政教分離の原則に従って、教誨師は公務員としての職を失いました。しかし、その後も、多くの教誨師が、民間の篤志家として、その活動を続けています。その支えとなったのが現在の公益財団法人全国教誨師連盟です。

2005（平成17）年5月、ほぼ100年ぶりに監獄法が改正され、新しい「被収容者処遇法」は、「宗教家の行う宗教上の教誨」を明文化しています。これは、人の生と死、こころの問題が、現代人共通の課題であり、犯罪や非行をおかしてしまった人たちの社会復帰や社会参加、犯罪の被害者等への配慮などにとって、重要な役割を果たすことが期待されていることの一端を示しています。

龍谷大学は、1639年開学以来、親鸞聖人のみ教えを实践する浄土真宗本願寺派の宗門校として、研究、教育、社会貢献活動を実践してきました。犯罪や非行をおかしてしまった人たちの社会復帰についても、長い歴史を有する矯正・保護課程と日本で唯一の刑事政策に特化した大学附設の研究・教育機関である矯正・保護総合センターを中心に多様な活動を展開しています。

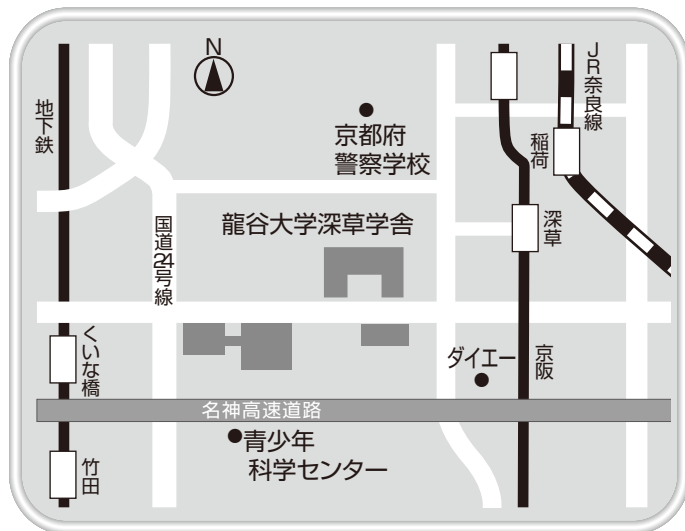
このたび、龍谷大学矯正・保護総合センターでは、文部科学省科学研究助成・新学術領域研究〔法と人間科学〕「犯罪者・非行少年処遇における人間科学的知見の活用に関する総合的研究」と協働して、「宗教教誨の現在と未来」をテーマにシンポジウムを開催することにいたしました。

### 参加お申込み

参加をご希望される方は、  
事前にお申込みが必要です。

## ACCESS 交通アクセス

- 龍谷大学深草学舎 和顔館B201教室  
京阪「深草」駅下車徒歩約3分  
JR奈良線「稲荷」駅下車徒歩約8分  
京都市営地下鉄烏丸線「くいな橋」駅下車徒歩約7分



### インターネットから

- ① 矯正・保護総合センターのホームページ (<http://rcrc.ryukoku.ac.jp/>) 上部にある「お申し込み」ボタンをクリックしてください。
- ② 「お申し込み」フォームの必要事項（名前・住所・メールアドレスなど）を入力した後、送信ボタンをクリックしてください。登録されたメールアドレスに受付完了メールを返信いたします。

### FAX から

下記参加申込書にご記入の上、  
送信してください。

↓ **FAX : 075-645-2632**

注意事項 : ※がついている欄は必ずご記入ください

## 参加お申込み（7月11日シンポジウム「宗教教誨の現在と未来—日本人の宗教意識—」）

ふりがな				
※ お名前		才	男・女	ご所属・ご職業 (差支えなければ)
※ ご住所	〒			
※ Tel		Fax		e-Mail